



TITLE:

地域研究統合情報センター要覧付録, 2015

AUTHOR(S):

CITATION:

地域研究統合情報センター要覧付録, 2015. 地域研究統合情報センター要覧付録 2015: [1]-[21]

ISSUE DATE:

2015

URL:

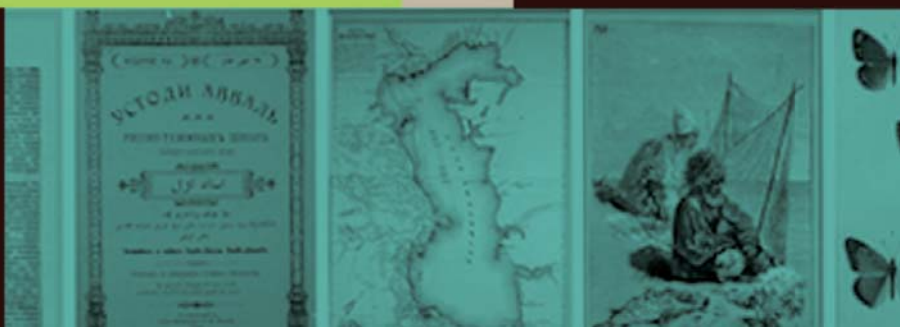
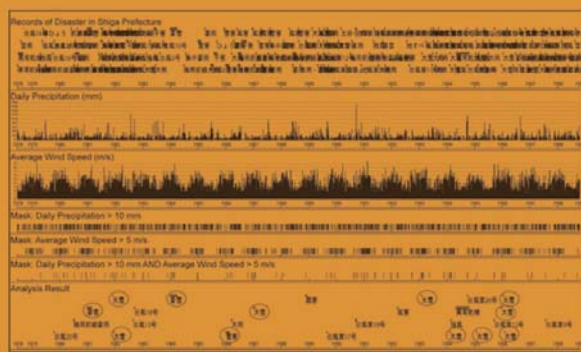
<http://hdl.handle.net/2433/227209>

RIGHT:

A photograph showing a person standing on a narrow wooden plank bridge that spans a deep, dark trench. The person is holding a long pole or stick. The trench appears to be filled with dark material, possibly soil or debris. The background shows a hilly, open landscape under a clear sky.



WATTAGE OF PUMP, EXCEEDS
 設置の割合が低く、増大



スタッフ

地域相関研究部門

グローバル化の進展のもと、地域間の比較や地域横断的な課題設定による地域研究（相関型地域研究）が求められています。この部門では、国内外の地域研究機関との連携を強化し、地域間の比較研究を軸にした共同研究を推進するとともに、多様な媒体を利用した研究成果の公開を行います。

情報資源研究部門

多様な形態を含む地域研究関連情報を活用する地域研究において、情報資源の概念を深化させ、地域研究コミュニティと研究対象社会の双方がともに情報資源を共有できるシステムの構築が求められています。この部門では、各地域の

情報資源の体系的な収集、その蓄積・加工・発信方策の検討、地域研究情報資源の横断的活用に関する研究を行い、地域情報資源の分散型共有化システムを開発します。

地域情報学 （高次情報処理）研究部門

地域研究に関する多岐・多様な情報資源を対象に、情報処理の高度化に関する研究を行います。また、情報学的手法を導入して、情報学と地域研究のコラボレーションによる新しい研究パラダイムの確立をはかり、学際領域としての地域情報学の構築を推進します。

国内・国外客員研究部門

相関型地域研究や地域情報資源の共有化、地域情報学の構築のためには、国内外の研究機関との協力・共同が不可欠です。この部門の設

置により、国内外の研究ネットワークを拡充します。国外客員研究員については、公募を行っています。

■ 兼務教員

▷東南アジア研究所

准教授 甲山 治

准教授 小林 知

准教授 三重野 文晴

▷アジア・アフリカ地域研究研究科

教授 東長 靖

准教授 片岡 樹

准教授 高田 明

准教授 山越 言

■ 国内客員研究部門

教授 大矢根 淳（専修大学）

教授 松田 正己（東京家政学院大学）

准教授 北本 朝展（国立情報学研究所）

准教授 村上 薫（日本貿易振興機構
アジア経済研究所）

■ 特任教員／研究員

教授 柴山 守

助教 山田 協太

■ 白眉プロジェクト

准教授 王 柳蘭

■ 研究員（科学研究）

Andrea Yuri Flores Urushima

DE JONG, Wil

教授

専門分野

Natural resource governance

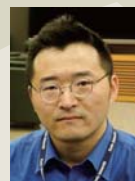


中山 大将

助教

専門分野

北東アジア地域研究、サハラ以南の歴史、農業社会史、移民史



帯谷 知可

准教授

専門分野

中央アジア地域研究、
中央アジア近現代史



貴志 俊彦

教授

専門分野

日中関係史、東アジア情報・通信・
メディア史研究、移民研究



村上 勇介

准教授

専門分野

ラテンアメリカ地域研究、政治学



西 芳実

准教授

専門分野

東南アジア地域研究、多言語・
多宗教地域の紛争・災害対応過程





山本 博之

准教授

専門分野

マレーシア地域研究・

イスラム教圏東南アジアの現代政治史、

災害対応と情報、地域研究方法論



柳澤 雅之

准教授

専門分野

農業生態学、ベトナム地域研究



林 行夫

教授

専門分野

東南アジア民族誌学、文化人類学、

宗教と社会をめぐる地域研究



亀田 堯宙

助教

専門分野

情報学（ウェブ、自然言語処理）



原 正一郎

教授

専門分野

情報学



王 柳蘭

准教授

専門分野

移民と宗教、医食文化、

華人（中国、タイ、台湾、日本）



□ Contents

1. 共同利用・共同研究

- 1-1 共同研究プロジェクト課題数の推移
- 1-2 共同研究プロジェクト課題

2. 出版物

3. データベース

4. 研究資料の所蔵

- 4-1 図書点数・内訳
- 4-2 京セラ文庫『英国議会資料（BPP）』
- 4-3 地図

5. シンポジウム・研究集会・ワークショップ

6. 国際交流

- 6-1 学術交流協定
- 6-2 外国人客員研究員

7. 外部資金（科学研究費補助金）

8. スタッフ一覧

- 8-1 スタッフ
- 8-2 スタッフ略歴

1. 共同利用・共同研究

1-1. 共同研究プロジェクト課題数の推移

2006 年度課題数	11	2011 年度課題数	31
2007 年度課題数	22	2012 年度課題数	27
2008 年度課題数	23	2013 年度課題数	39
2009 年度課題数	18	2014 年度課題数	40
2010 年度課題数	29	2015 年度課題数	25

1-2. 共同研究プロジェクト課題

* 統括班 ** 複合共同研究ユニット

2010 年度以降の採択課題	研究期間 (年度)	2010	2011	2012	2013	2014	2015
統括班「〈地域〉を測量（はか）る」—21 世紀の『地域』像 *	2010-2015	5	5	3	3	3	3
包摂と排除から見る地域 **	2010-2011	4	6				
学校のなかの「他者」：南アジアの教育における包摂と排除	2010-2011	9	9				
「必要不可欠なアウトサイダー」からみる新たな地域像	2010-2011	10	10				
ヨーロッパにおける複合的国家の歴史的展開と現状比較	2010-2011	7	7				
大衆文化のグローバル化に見る包摂と排除の諸相：マレーシア映画を事例として	2010-2011	6	6				
新自由主義の浸透と社会への影響に関する地域間比較研究 **	2010-2012	3	3	5			
中東欧・ロシアにおける新自由主義的政策の展開とその帰結	2010-2011	4	4				
中東地域における経済自由化と統治メカニズムの頑健性に関する比較研究	2010-2011	16	15				
ラテンアメリカにおける新自由主義の浸透と政治変動	2010-2011	12	12				
市場経済移行期のラオス農村金融市場の形成：東北タイ、ベトナム、日本の経験との比較	2012			5			
南アジアの教育における新自由主義：私事化・市場化・国際化の地域間比較に向けて	2012			10			
中東地域における経済自由化政策をめぐる受容と抵抗：比較政治研究	2012			16			
中東欧・ロシアにおける新自由主義的政策の理念と実態	2012			5			
新自由主義期ラテンアメリカにおける政策的位相の比較研究	2012			13			
自然と人の相互作用からみた歴史的地域の生成 **	2010-2012	24	27	6			
まつたけ（Tricholoma spp.）の生産と流通・食文化をめぐる相関型地域研究：アジア・北米から中東・地中海地域までを視野に入れて	2010-2011	5	6				
東南アジアにおける油ヤシ農園生成・拡大の政治経済学	2010-2011	17	19				
相関型地域研究による総合的マツタケ（Tricholoma spp.）学の創成	2012			13			
アブラヤシ農園拡大の政治経済学：東南アジアを超えて	2012			21			
アフリカにおける人為植生の成立要因と歴史的変遷に関する地域間比較研究	2012			16			
アジアの大河流域における地域形成が流域ガバナンスに及ぼす影響	2012			4			
〈宗教〉からみた地域像 **	2010-2012	11	11	16			
聖なるもののマッピング	2010-2011	10	11				
功德の観念と積徳行に関する地域間比較研究	2011-2012		11	11			
癒し空間の総合的研究：聖空間としての延喜式内社とアジアの聖地の比較研究	2011-2012		12	12			
異宗教・異民族間コミュニケーションにおける共生の枠組と地域の複相性に関する比較研究	2012			12			
ポストグローバル化期における国家社会関係 **	2013-2015				3	4	4
ポスト・グローバル化期の教育に関する国際比較：新自由主義、子どもの権利、国家の役割の再編	2013-2014				13	13	
地域内多様性と地域間共通性の比較政治経済分析：ポスト社会主義国を軸として	2013-2014				7	7	
中東とラテンアメリカにおける体制転換の比較研究	2013-2014				13	13	
ユーロ危機下における南欧諸国のガバナンス変容：東欧諸国との地域間比較の視点から	2013-2014				12	12	
ネオリベラリズム以後の新興民主主義国の多様性：ポスト社会主義国を軸として	2015						7
体制転換における軍と政党：中東とラテンアメリカの比較研究	2015						13
中央アジアの社会主義的近代化と現在：イスラームとジェンダーの観点から	2015						6
地域環境とグローバルな持続可能性への挑戦 **	2013-2015				5	6	9
熱帯森林利用のローカル・ガバナンスの可能性に関する地域間比較研究	2013-2014				12	14	

アフリカにおける地域植生と植物利用の持続可能性	2013-2014				18	17	
現代アフリカ社会における植物利用の持続可能性と地域植生の管理	2015						19
熱帯森林ー都市関係の社会生態学的比較研究	2015						16
宗教実践の時空間と地域 **	2013-2015				18	18	18
移動と宗教実践：地域社会の動態に関する比較研究	2013-2014				8	8	
「功德」をめぐる宗教実践と社会文化動態に関する比較研究：東アジア・大陸東南アジア地域を対象として	2013-2014				15	15	
南欧カトリシズムの変容と福祉ビジネスの展開に関する地域間比較	2013-2014				7	9	
宗教実践における声と文字：東南アジア地域からの展望	2013-2014				14	14	
仏教をめぐる日本と東南アジア地域：断絶と連鎖の総合的研究	2015						11
地域情報学の展開（2010-2012） **	2010-2012	16	15	17			
地域情報学の展開（2013-2015） **	2013-2015				3	3	3
沖縄におけるマラリア対策資料の医療情報学および地域情報学的分析	2010-2011	7	7				
HGIS の利用と動向に関する研究	2010-2011	14	14				
地域研究資料の連関、組織化と利用に関する研究	2010-2011	8	8				
東南アジア地域の古文書を対象とした汎用的データベース公開システムの検討	2010-2011	7	7				
分野融合型集落定点調査情報の時空間データベースの構築と共有に関する研究	2010-2011	7	6				
地域表象情報学の試み：写真は地域の何を私たちに語りかけるのか？	2012			9			
HGIS の展開に関する研究	2012			9			
「地域の知」の情報学：時間・空間・語彙に注目した地域情報学の展開	2013-2015				16	15	15
地域に関する時空間基盤情報の収集・蓄積	2013-2014				10	10	
地域研究データにおけるトピックの検出と時空間変化に関する研究	2013-2014				11	11	
学術論文のマッピング・システムを通じた地域情報の統合と共有化	2013-2014				5	5	
フィールドノートを対象としたテキストマイニングに関する研究	2015						11
地域研究における時空間情報の実践的活用	2015						10
非文字資料の共有化と研究利用 **	2013-2015				14	14	18
写真雑誌に見る第二次世界大戦期の記憶とジェンダー・エスニシティの表象分析	2013-2014				5	8	
20 世紀前半のサハラ島に関する歴史的記憶	2013-2014				6	5	
集合的記憶と中東欧地域の音楽：比較研究に向けてのデータベース構築	2013-2014				9	10	
CIAS 所蔵資料の活用 **	2010-2012	6	5	6			
CIAS 所蔵資料の活用 **	2013-2015				6	5	8
近代アジアにおける植民地都市と商業・金融・情報ネットワーク：イギリス帝国を中心に	2010	15					
トルキスタン集成のデータベース化とその現代的活用の諸相	2010-2012	13	13				
脱植民地化期の東南アジアにおけるムスリム社会の動態	2010-2012	4	4				
帝政ロシアの植民地的「知」の中の中央アジア：「トルキスタン集成」データベースの検索機能の高度化を通じて	2012			11			
「混成アジア映画」に見る世界：一潮流としてのマレーシアを中心に	2012			12			
島嶼部東南アジアにおける国民国家形成とマレー・ムスリムのネットワーク	2012			8			
書誌情報データベースの地域情報学的新展開を探る	2013-2014				6	6	
『乾隆京城全図』と空間画像史料を用いた「華北・北京歴史データベース」の構築	2013-2014				3	3	
映画に見る現代アジア社会の課題	2013-2014				7	7	
脱植民地化期の東南アジア・ムスリムの自画像と他者像	2013-2014				9	8	
1950・60 年代の東南アジア・ムスリムの社会史	2015						9
災害対応の地域研究：強くしなやかな社会をめざして *	2011-2013		0	0	6	6	5
災害・紛争と復興 **	2013-2015				3	3	3
3・11 被災後のディアスポラ・コミュニティにおけるコミュニケーションの総合的研究	2011-2013		6	7			
「小さな災害」アプローチによる紛争・災害に強い社会づくり：災害地域情報マッピングシステムを活用した社会問題の早期発見・早期対応	2013-2014				8	8	
社会紛争の総合分析に基づく解決・予防の研究：ラテンアメリカの事例から	2013-2014				5	5	
ラテンアメリカにおける社会紛争：発生・終結プロセスの比較研究	2015						6
記録・記憶と社会の再生 **	2013-2015				2	2	2
災厄からの再生のための記録と記憶の〈場〉：災害・紛争後の記憶をつなぐ実践・支援とその可能性	2013-2014				5	5	
建築を通じたポピュラー文化の記憶の場の構築力の解明	2013-2014				6	6	
メディアの記憶をめぐるウチとソト：多声化社会におけるつながりと疎外の動態	2014-2015					11	10
危機からの社会再生における情報源としての映像作品：東南アジアを事例として	2015						10

地域の集成的記憶の再編を支援する「メモリーハンティング」の展開と防災・ツーリズムへの活用	2015						5
地域研究方法論（2010-2012）**	2010-2012	6	6	4			
『仮想地球』モデルをもちいたグローバル／ローカル地域認識の接合	2010	8					
ヒューマン・パワー時代の外交・安全保障の現場と地域研究	2010-2011	5	5				
災害対応と情報：人道支援・防災研究・地域研究の連携を求めて	2010-2011	5	5				
『仮想地球』モデルをもちいたグローバル／ローカル地域認識の展開	2011		8				
地域研究における情報資源の共有化とネットワーク形成による異分野融合型方法論の構築	2011-2012		20	20			
紛争・災害後社会のメディアと記憶	2012			8			
地域研究方法論（2013-2015）**	2013-2015				4	4	4
アジアと日本を結ぶ実践型地域研究	2013-2014				5	5	
物語を基にしたコミュニティづくりを目指す地域研究	2013-2014				3	7	
官公庁や民間企業やマスコミと接合される地域研究の方法論の検討	2013-2014				8	8	
	ユニット数	29	33	28	39	40	25
	延べ人数	264	303	279	313	333	225

セル内の数字は所属研究員数

2. 出版物

センター内出版物	
CIAS 叢書《地域研究のフロンティア》	出版年
5：村上勇介編『21世紀ラテンアメリカの挑戦：ネオリベリズムによる亀裂を超えて』（京都大学学術出版会）	2015
CIAS 叢書サブシリーズ《災害対応の地域研究》	出版年
3：牧紀男・山本博之編著『国際協力と防災：つくる・よりそう・きたえる』（京都大学学術出版会）	2015
CIAS 叢書サブシリーズ《関連地域研究》	出版年
1：貴志俊彦・山本博之・西芳実・谷川竜一編著『記憶と忘却のアジア』（青弓社）	2015
CIAS 叢書サブシリーズ《情報とフィールド科学》	出版年
1：山本博之著『映画から世界を読む』（京都大学学術出版会）	2015
雑誌『地域研究』	出版年
15 巻 1 号：[総特集] グローバル・アジアにみる市民社会と国家の間：危機とその克服	2015
CIAS Discussion Paper	出版年
No. 45 山本博之・青山和佳編著『フィリピンの台風災害に関する緊急研究集会報告書 台風ヨランダはフィリピン社会をどう変えるか：地域に根ざした支援と復興の可能性を探る』	2014
No. 46 長谷川清・林行夫編『積徳行と社会文化動態に関する地域間比較研究：東アジア・大陸東南アジア地域を対象として』	2015
No. 47 小島敬裕編『移動と宗教実践：地域社会の動態に関する比較研究』	2015
No. 48 Artemio Sánchez Portocarrero, GENOCIDIO EN LOS ANDES, EL SILENCIO DE LOS VIVOS Y EL GRITO DE LOS MUERTOS TESTIMONIOS DE MUERTES EN PUTIS Y OTRAS COMUNIDADES ALTOANDINAS Y AMAZÓNICAS	2015
No. 49 福田宏・池田あいの編著『国民音楽の比較研究に向けて：音楽から地域を読み解く試み』	2015
No. 50 谷川竜一編『世界のジャスティス：地域の揺らぎが未来を照らす』	2015

No. 51 帯谷知可編『書誌情報データベースの地域情報学的新展開を探る』	2015
No. 52 谷川竜一・山中千恵・伊藤遊・村田麻里子編『日本のマンガミュージアム2：マンガミュージアムを介した地域力の再生／地域力によるマンガ文化の創出』	2015
No. 53 坪井祐司・山本博之編著『『カラム』の時代VI：近代マレー・ムスリムの日常生活2』	2015
No. 54 山本博之・西芳実・篠崎香織編『2004年スマトラ沖地震・津波復興史I』	2015
No. 55 山本博之・西芳実・篠崎香織編『2004年スマトラ沖地震・津波復興史II』	2015

JCAS Collaboration Series	出版年
No.9 飯塚宜子・王柳蘭編『子どもたちは多様な地域に何を学ぶのか：感じ方の育みと総合的理解の視点』	2015
No.10 宮原暁・山本博之・石丸次郎・立岩礼子・西芳実編『世界はレイシズムとどう向き合ってきたか：地域研究とジャーナリズムの現場から』	2015
No.11 川上桃子・塩谷昌史・柳澤雅之編『地域から研究する産業・企業：フィールドワークとディシプリン』	2015
No.12 西芳実・篠崎香織編『東南アジアの移民・難民問題を考える：地域研究の視点から』	2015

地域研究資料集	出版年
QALAM No. 78-83, 1957.01 ~ 1957.06 (山本博之監修)	2014
QALAM No. 84-85, 1957.07 ~ 1957.08 (山本博之監修)	2014
TRANSLITERASIJAWI-RUMI/Majalah Qalam BILANGAN 91, FEBRUARI 1958	2014
TRANSLITERASIJAWI-RUMI/Majalah Qalam BILANGAN 92, MAC 1958	2014
TRANSLITERASIJAWI-RUMI/Majalah Qalam BILANGAN 93, APRIL 1958	2014
TRANSLITERASIJAWI-RUMI/Majalah Qalam BILANGAN 94, MEI 1958	2014
TRANSLITERASIJAWI-RUMI/Majalah Qalam BILANGAN 95, JUN 1958	2014
TRANSLITERASIJAWI-RUMI/Majalah Qalam BILANGAN 96, JULAI 1958	2015
TRANSLITERASIJAWI-RUMI/Majalah Qalam BILANGAN 97, OGOS 1958	2015
TRANSLITERASIJAWI-RUMI/Majalah Qalam BILANGAN 98, SEPTEMBER 1958	2015
TRANSLITERASIJAWI-RUMI/Majalah Qalam BILANGAN 99, SEPTEMBER 1958	2015
TRANSLITERASIJAWI-RUMI/Majalah Qalam BILANGAN 100, NOVEMBER 1958	2015
TRANSLITERASIJAWI-RUMI/Majalah Qalam BILANGAN 101, DISEMBER 1958	2015
TRANSLITERASIJAWI-RUMI/Majalah Qalam BILANGAN 102, JANUARI 1959	2015
TRANSLITERASIJAWI-RUMI/Majalah Qalam BILANGAN 103, FEBRUARI 1959	2015
TRANSLITERASIJAWI-RUMI/Majalah Qalam BILANGAN 104, MAG 1959	2015
TRANSLITERASIJAWI-RUMI/Majalah Qalam BILANGAN 105, APRIL 1959	2015

センター・スタッフの刊行物	出版年
P.Katila, G.Galloway, W.de Jong, P.Pacheco (eds.), <i>Forests under pressure: Local responses to global issues</i> , IUFRO World Series Volume 32, International Union of Forest Research Organizations.	2014
貴志俊彦著『日中間海底ケーブルの戦後史：国交正常化と通信の再生』（吉川弘文館）	2015
貴志俊彦・川島真・孫安石編著『増補改訂 戦争・ラジオ・記憶』（勉誠出版）	2015
Andrea Yuri Flores Urushima, Raquel Abi-Sâmara and Murilo Jardim da Costa, <i>Modernização Urbana e Cultura Contemporânea: Diálogos Brasil-Japão</i> , São Paulo: Terracota.	2015
B. Pokorny, W. de Jong and A.J. Pottinger, <i>The International Forestry Review</i> Vol. 17 (S1), 2015 Special Issue: Smallholders and forest landscape transitions: Locally devised development strategies of the tropical Americas, The Commonwealth Forestry Association.	2015

3. データベース (<http://www.cias.kyoto-u.ac.jp/database/>)

1	アチェ津波モバイル博物館システム
2	アチェ津波モバイル博物館（スマホ版）
3	アチェ津波被災地メモリーハンティング
4	2004 年スマトラ沖地震・津波関連記事データベース
5	2004 年スマトラ沖地震・津波画像データベース
6	アチェ津波アーカイブ（可視化型データベース）
7	災害と社会 情報マッピング・システム
8	2009 年西スマトラ地震関連記事データベース
9	バンダアチェ今昔写真集メモリーハンティング
10	アチェ津波アーカイブ（スマホ版）
11	神戸被災地メモリーハンティング
12	ポスト社会主義諸国選挙・政党データベース
13	センデロ・ルミノソ・マッピング
14	大陸部東南アジア仏教徒社会の時空間マッピング・データベース
15	寺院マッピング
16	チエノワイカル
17	「トルキスタン集成」データベース
18	『カラム』雑誌記事データベース
19	『ワクトゥ』雑誌記事データベース
20	タイ映像資料データベース
21	タイ語三印法典（王立研究所版）
22	タイ語三印法典（タマサート大学版）
23	貝葉文書
24	東北タイ南部貝葉データベース
25	「英国議会資料」図版データベース
26	フィールドノート・データベース
27	道は、ひらけるー石井米雄と東南アジア研究（石井米雄コレクション）
28	布野修司・世界建築データベース
29	インド（タミル）映画データベース
30	タイ映画データベース
31	マレーシア映画データベース
32	満洲国ポスターデータベース
33	戦前期東アジア絵はがきデータベース
34	アジア都市環境文化資源データベース
35	柏原英一（1914 ～ 2009）写真帳
36	『亜東印画輯』データベース
37	『北支』データベース
38	『亜細亜大観』データベース
39	『北京特別市公署市政公報』目次検索データベース（1938 ～ 1944 年）
40	上海租界工部局警務処文書件名索引データベース（1894 ～ 1949 年）
41	スタンフォード大学フーヴァー研究所中国関係アーカイブ件名索引データベース
42	モンゴル（人民共和）国科学アカデミー刊行人文社会系学術定期刊行物記事索引データベース
43	My データベースサービスおよび REST 型 API
44	地域研究資源共有化データベース（Resource Sharing Database for Area Studies）

45	地域研究資源共有化データベース：多言語対応試行版（Resource Sharing Database for Area Studies: Multilingual Trial Version）
46	GIS システムをベースとした多機能連携型データベース作成ツール：HuMap（Humanities Map）
47	年表重ね合わせ分析ツール：HuTime（Humanities Time）
48	デジタル歴史地名辞書
49	暦日テーブル
50	地図データベース（試行版）
51	日本図書館協会基本件名標目表トピックマップ
52	国立国会図書館件名標目表トピックマップ
53	AGROVOC トピックマップ
54	HRAF トピックマップ
55	「花より男子」トピックマップ（マンガ TOPICMAPS）
56	北タイ古文獻（貝葉資料）にみる民族間関係
57	Mapping Practice of Theravadins
58	アチェ津波被災者証言データベース

4. 研究資料の所蔵（2015 年 10 月現在）

4-1. 図書点数・内訳（BPP も含む）

- ・図書 総冊数 57,074（うち和書 14,537、洋書 42,537）
- ・雑誌 総タイトル数 722（うち和雑誌 146、洋雑誌 576）
- ・マイクロフィルム 約 5,200 リール
- ・マイクロフィッシュ 約 20,000 枚
- ・映像資料 約 2,000 点
- ・光・磁気媒体資料 約 600 点

4-2. 京セラ文庫『英国議会資料（BPP）』

- ・上院文書（1801～1922 年）・下院文書（1801～1986 年） 計 12,832 冊（欠本率 0.03%）
- ・ウェブ版 House of Commons Parliamentary Papers（下院文書：18 世紀～現在）

4-3. 地図

- ・国別地図（記載のないものは 20 万分の 1） 計 3,234 枚

ロシア（50 万分の 1）	605 枚
カザフスタン	585 枚
アフガニスタン（10 万分の 1）	389 枚
サウジアラビア	325 枚
イラン	277 枚
ラオス（10 万分の 1）	174 枚
トルコ	164 枚
アフガニスタン	123 枚
ウズベキスタン	111 枚
トルクメニスタン	106 枚
イラク	88 枚

クルグズ（キルギス）	53 枚
シリア	46 枚
タジキスタン	44 枚
オマーン	39 枚
ヨルダン	25 枚
イエメン	25 枚
アラブ首長国連邦	24 枚
イスラエル	12 枚
クウェート	7 枚
カタール	6 枚
レバノン	6 枚

5. シンポジウム・研究集会・ワークショップ

タイトル	開催日時	開催場所
2013 年フィリピン台風災害 被災地調査報告会	2014 年 4 月 4 日	京都大学稲盛財団記念館
共同研究ワークショップ「世界のジャスティス：地域の揺らぎが未来を照らす」	2014 年 4 月 26 日	京都大学稲盛財団記念館
追悼イベント「映像民俗学者 姫田忠義の軌跡を追う」	2014 年 5 月 11 日	徳正寺
第 21 回東京国際ブックフェア 日本・マレーシア合同セミナー「遺産から展望へ：マレー・イスラム出版物の翻字復刻、電子アーカイブ化と出版・教育・研究への展開」	2014 年 7 月 3 日	東京ビッグサイト会議棟
「琉球列島米国民政府（USCAR）制作フィルム」第 3 回鑑賞・検討会	2014 年 7 月 5 日	那覇市 NPO 活動支援センター
JCAS オンデマンドセミナー「災害・防災から見た東南アジア」	2014 年 7 月 19 日	京都大学稲盛財団記念館
ワークショップ「社会紛争の総合分析に基づく解決・予防の研究」	2014 年 7 月 23 ～ 25 日	京都大学稲盛財団記念館
公開シンポジウム「世界はレイシズムとどう向き合ってきたか」	2014 年 7 月 26 日	佐治敬三メモリアルホール
京都マレーシア映画文化シンポジウム「親皇子星一番星：よそ者どうしが織りなす家族の物語」	2014 年 8 月 4 ～ 5 日	芝蘭会館山内ホール
シンポジウム「マンガ文化で熊本を活性化 マンガを活用した民・官・学の取り組み マンガ文化は地域をいかに変えうるのか？」	2014 年 8 月 7 日	崇城大学芸術学部棟
京都シネアドボ・ワークショップ「越境する危機と分かち合う記憶：東南アジアを襲う不況・台風・爆弾テロ」	2014 年 9 月 10 日	京都大学稲盛財団記念館
フィリピン台風災害被災地支援映画上映会	2014 年 9 月 10 日	京都大学稲盛財団記念館
国際ワークショップ「抵抗と解放の身体：ブラジル伝統芸能『カポエイラ』による対話と実践」	2014 年 9 月 12 日	京都大学稲盛財団記念館
Consejo de Estudios Latinoamericanos de Asia y Oceanía-CELAO 第 6 回研究大会（京都）	2014 年 9 月 16 ～ 18 日	京都大学文学部校舎
ワークショップ「国民音楽の比較研究と地域情報学」	2014 年 9 月 27 日	京都大学稲盛財団記念館
京都大学アカデミックデイ 2014「津波被災者からのメッセージを読み解け」「音楽から地域を語れるか？」	2014 年 9 月 28 日	京都大学百周年時計台記念館
ワークショップ「ムダの魅力：地域研究の潜在性」	2014 年 10 月 21 日	京都大学稲盛財団記念館
ワークショップ「ポストグローバル化期の大学教授職」	2014 年 10 月 25 ～ 26 日	広島大学国際協力研究科
CIAS Visiting Researcher's Seminar No.1《国外客員セミナー》“Putin, Ukraine, and the New Border Order”	2014 年 11 月 6 日	京都大学稲盛財団記念館
CIAS Visiting Researcher's Seminar No.2《国外客員セミナー》“Comparing Problems of Dynastic Succession in Autocracies: Russia's Romanovs and Japan's Tokugawa”	2014 年 11 月 11 日	京都大学稲盛財団記念館

Seminar for Students of Graduate Program on Disaster Management, Syiah Kuala University	2014 年 11 月 17 日	バンダアチェ
Reformas en la América Latina contemporánea y sus lecciones para hoy セミナー「現代ラテンアメリカの諸改革：その教訓と課題」	2014 年 11 月 17 日	京都大学稲盛財団記念館
「第 6 回 文化と歴史そして生態を重視したもうひとつの草の根の農村開発に関する国際会議 in 美山町」	2014 年 11 月 15 ～ 17 日	京都府南丹市美山町知井地区
合同ワークショップ「第二次世界大戦後、東アジアにおける『国民歌謡』をめぐるディスコース」	2014 年 11 月 23 日	大阪大学豊中キャンパス文法経研究講義棟
ワークショップ「理念としての『国民音楽』：19 世紀－20 世紀初頭のロシア・中東欧における戦略と受容」	2014 年 11 月 24 日	早稲田大学早稲田キャンパス 7 号館
合同研究会「図像資料の研究を考える：戦争と生活」	2014 年 12 月 6 日	神奈川大学
International Workshop on Migration and the Remaking of Ethnic/ Micro-Regional Connectedness	2014 年 12 月 4 ～ 7 日	国立民族学博物館会議室、京都大学稲盛財団記念館
シンポジウム「人生の物語と社会：フィリピンの社会的企業 UNIQUEASE の例を中心に」	2014 年 12 月 12 日	龍谷大学瀬田学舎樹心館
“De/Re-constructing Middle East Studies from Asian Perspectives:Towards the 20th Anniversary of the AFMA”	2014 年 12 月 13 ～ 14 日	京都大学百周年時計台記念館
国際シンポジウム『『教育立国』を目指すマレーシア：ムスリム・コミュニティにおける女性・英語・大学』	2014 年 12 月 14 日	東京大学本郷キャンパス山上会館
京都＝アチェ国際ワークショップ「情報コミュニケーション技術を用いた防災実践」	2014 年 12 月 24 日	エルメスパレス・ホテル、バンダアチェ、インドネシア
アチェ津波モバイル博物館ならびにアチェ津波被災地メモリーハンティング発表会	2014 年 12 月 24 日	エルメスパレス・ホテル、バンダアチェ、インドネシア
日本・アジア青少年サイエンス交流事業招聘学生認証式ならびに事前研修	2015 年 12 月 25 日	シアクアラ大学兵庫県記念棟（インドネシア共和国アチェ州バンダアチェ市）
アチェ津波被災 10 周年記念ドキュメンタリー「海からのメッセージ」上映会	2015 年 1 月 18 日	京都大学稲盛財団記念館
Workshop on Locating Forest Certification in Legality and Sustainability Compliance in Asia	2015 年 1 月 23 日	CIFOR 国際林業研究センター会議室（インドネシア共和国ボゴール市）
シンポジウム「地域おこしとキャラクター文化：次の『くまモン』は生み出せるか？」	2015 年 1 月 24 日	仁愛大学
ワークショップ「教育イデオロギーの現在：国家、シティズンシップ、能力主義」	2015 年 1 月 24 日	東京外国語大学本郷サテライト
ワークショップ『『カラムの時代』と現代を結ぶ：マレー・イスラム定期刊行物の翻字復刻・電子アーカイブ化』	2015 年 1 月 30 日	京都大学稲盛財団記念館
ワークショップ「データの可視化と問題発見／書誌情報データベースの新しい形を模索する：石井米雄コレクションとトルキスタン集成の事例から」	2015 年 2 月 12 日	京都大学稲盛財団記念館

シンポジウム「アフリカにおける地域植生と植物利用の持続可能性」	2015 年 2 月 14 日	京都大学稲盛財団記念館
シンポジウム「国内外の DH 連携と京大 DH の可能性」	2015 年 2 月 27 日	京都大学吉田キャンパス 人文科学研究所本館
ワークショップ「現代ペルーの国家と社会：暴力、エスニシティ、地方分権化」	2015 年 3 月 7 日	京都大学稲盛財団記念館
第 10 回大阪アジア映画祭シンポジウム「女の幸せは旅しだい？：マレーシア・トルコ合作映画『カッパドキアの甘い恋』より」	2015 年 3 月 12 日	大阪歴史博物館
シンポジウム「Remapping Hiroshima:『ヒロシマ』を（再）マッピングする：核時代の到来・起点としての『ヒロシマ』」	2015 年 3 月 15 日	広島市まちづくり市民 交流プラザマルチメ ディアスタジオ
Sustainable Forest Management in Kalimantan, Indonesia	2015 年 3 月 17 日	メルキュール・ポンティ アナックホテル（イン ドネシア）
京都＝アチェ国際ワークショップ「スマトラ大津波から 10 年：情報コミュニケーション技術を活用した防災実践と展望」	2015 年 3 月 21 日	京都大学稲盛財団記念館
公開講座「フィールドワークを観察する」	2015 年 3 月 22 日	仙台駅周辺
共同研究ワークショップ「せめぎあう眼差し：相関する地域を読み解く」	2015 年 4 月 25 日	京都大学稲盛財団記念館
上映・講演会「多色字幕による多言語映画の表現」	2015 年 4 月 13 ～ 15 日	シネマート六本木（東京）
ポール・パークレー×中山大將 ジョイント・ワークショップ 2015	2015 年 5 月 28 日	京都大学稲盛財団記念館
第 25 回日本熱帯生態学会年次大会	2015 年 6 月 19 ～ 21 日	京都大学稲盛財団記念館
シンポジウム「ポストネオリベラル期のラテンアメリカ政治：現状と課題」	2015 年 6 月 22 日	上智大学中央図書館棟
東南アジアの移民・難民に関する緊急研究集会	2015 年 7 月 19 日	東京大学山上会館大会 議室
国際学術討論会「東亜的歴史、現在與未来：文化交流と相互認識 東亜学術論壇 2015」	2015 年 8 月 25 日	哈爾濱師範大学夢溪賓館 （中国）
Media Cultures of Wartime and Postwar East Asia	2015 年 9 月 15 日	Georgetown University （米国）
Gaia Caramellino × 谷川 竜一 ジョイント・セミナー 2015	2015 年 9 月 17 日	京都大学稲盛財団記念館
九州シネアドボ・ワークショップ「変身するインドネシア：力と技と夢の女戦士たち」	2015 年 9 月 20 日	キャナルシティ博多ビ ジネスセンタービル

6. 国際交流

6-1. 学術交流協定

国際森林研究センター	インドネシア	2007 年 2 月
ラオス国立大学	ラオス	2007 年 3 月
台湾中央研究院人文社会科学研究センターアジア太平洋地域研究センター	台湾	2007 年 6 月
スルタン・アグン・ティルタヤサ大学	インドネシア	2007 年 10 月
トリブバン大学ネパール・アジア研究所	ネパール	2008 年 9 月
トロペンボス・インターナショナル	オランダ	2009 年 1 月
ペルー問題研究所	ペルー	2010 年 2 月
カンボジア王立芸術大学	カンボジア	2010 年 12 月
カンボジア王立農業大学	カンボジア	2010 年 12 月
コンケン大学看護学部	タイ	2011 年 3 月
ブータン王立大学シェルブツシェ・コレッジ	ブータン	2011 年 6 月
チュラーロンコーン大学社会調査研究所	タイ	2011 年 8 月
シアクアラ大学津波防災研究センター	インドネシア	2011 年 12 月
リアウ大学	インドネシア	2012 年 6 月
世界の森林、社会と環境に関する IUFRO プロジェクト	フィンランド	2013 年 1 月
クラシカ・メディア	マレーシア	2013 年 10 月
ペルー・アマゾン研究所	ペルー	2013 年 12 月
コタブク	マレーシア	2014 年 7 月
レスター大学地理部	英国	2014 年 10 月
シラバコーン大学大学院	タイ	2015 年 1 月

6-2. 外国人客員研究員

Melba Eugenia Maritza Falck Reyes de Ponce	メキシコ	2013/4/1 ～ 6/30
Andrijana Cvetkovik	マケドニア	2013/7/1 ～ 10/31
Gaia Caramellino	イタリア	2015/8/1 ～ 10/31

7. 外部資金（科学研究費補助金・2015 年度）

東アジア域内 100 年間の紛争・協調の軌跡を非文字史料から読み解く	基盤研究（A）	貴志 俊彦	2013-2016
<宗教＝社会複合マッピング>からよむ大陸部東南アジア仏教徒社会の動態と変容	基盤研究（A）	林 行夫	2014-2017
中央アジアのイスラーム・ジェンダー・家族：「近代化」再考のための視座の構築	基盤研究（B）	帯谷 知可	2012-2015
生活世界の変容とジェンダー：インド高齢女性のライフヒストリーを通して	基盤研究（B）	押川 文子	2013-2015
インドネシアの災害後社会における生活再建と女性	基盤研究（B）	西 芳実	2014-2017
20 世紀北朝鮮の建築・都市通史の解明	基盤研究（B）	谷川 竜一	2014-2018
近代仏教建築の展開とアジア／亜細亜の形成・離散	基盤研究（C）	山田 協太	2013-2015
学術論文のマッピング・システムを通じた地域情報の統合と共有化	挑戦的萌芽研究	山本 博之	2013-2015
新自由主義改革後の中南米における社会紛争：事例の総合的調査研究	挑戦的萌芽研究	村上 勇介	2014-2015
「学校化」に向かう南アジア	学術図書	押川 文子	2017

8. スタッフ一覧（2015 年 10 月現在）

8-1. スタッフ

地域相関研究部門	教 授	Wilhelmus Adrianus de Jong
	准教授	帯谷 知可
	准教授	村上 勇介
	助 教	中山 大将
情報資源研究部門	教 授	貴志 俊彦
	准教授	西 芳実
	准教授	山本 博之
	助 教	谷川 竜一（2015 年 9 月退職 金沢大学新学術創成研究機構助教）
地域情報学（高次情報処理）研究部門	教 授	林 行夫
	教 授	原 正一郎
	准教授	柳澤 雅之
	助 教	亀田 堯宙

特任教員／研究員	教 授	柴山 守
	助 教	山田 協太
白眉プロジェクト	准教授	王 柳蘭
名誉教授		田中 耕司 押川 文子
兼務教員		
東南アジア研究所	准教授	甲山 治
	准教授	小林 知
	准教授	三重野 文晴
アジア・アフリカ地域研究研究科	教 授	東長 靖
	准教授	片岡 樹
	准教授	高田 明
	准教授	山越 言
国内客員研究部門	教 授	大矢根 淳（専修大学）
	教 授	松田 正己（東京家政学院大学）
	准教授	北本 朝展（国立情報学研究所）
	准教授	村上 薫（日本貿易振興機構アジア経済研究所）
研究員（科学研究）		Andrea Yuri Flores Urushima

8-2. スタッフ略歴

○地域相関研究部門

Wil de Jong（ウィル・デ・ヨン（教授））

1. 専門分野

Natural resource governance and policy, Community resource management, Forest transition

2. 経歴

1984-1985 Research Associate, National Institute for Agricultural Research, Peru
1985-1995 International Fellow and Research Associate, Institute of Economic Botany, New York Botanical Garden, USA
1995-2004 Scientist and Senior Scientist, Center for International Forestry Research, Bogor, Indonesia
2004-2006 Professor, Center for Area Studies, National Museum of Ethnology, Japan
2006- Professor, Center for Integrated Area Studies, Kyoto University, Japan

3. 研究課題

- (1) Area Environments and Global Sustainability Challenges.
The world society faces dramatic natural resources and environmental global sustainability challenges that an area studies focus on environmental issues may help to overcome. An area environments studies approach can yield important knowledge that can contribute to the solution of global challenges.
- (2) Community Resource Management.
Communities are worldwide the de facto stewards of natural resources use and preservation. They are progressively engaged in wider sustainable resource use initiatives, but this engagement is often not well recognized because of inadequate understanding of local practices and economic, social and cultural realities.

4. 主要業績

- ・ 2012 "Political theory in forest policy sciences," *Forest Policy and Economics* 16, pp. 1-6 (doi: 10.1016/j.forpol.2011.07.001), W. de Jong, B. Arts, M. Krott.
- ・ 2012 "Strangers among trees: Territorialisation and forest policies in the northern Bolivian Amazon," *Forest Policy and Economics* 16, pp. 65-70 (doi: 10.1016/j.forpol.2011.02.004), W. de Jong, Sergio Ruiz.
- ・ 2010 "Forest rehabilitation and its implication for forestry transition theory," *Biotropica* 42:1, pp.3-9.
- ・ 2010 "Challenges of community forestry in tropical America," *Bois et Forêts des Tropiques* 303:1, pp. 53-66, B. Pokorny, C. Sabogal, W. de Jong, P. Pacheco, N. Porro, B. Loumann, D. Stoian.
- ・ 2007 "A review of tools for incorporating community knowledge, preferences, and values into decision making in natural resources management," *Ecology and Society* 12:1, p. 5 (<http://www.ecologyandsociety.org/vol12/iss1/art5/>), T. Lynam, W. de Jong, D. Sheil, T. Kusumanto, K. Evans.

帯谷 知可（おびや ちか（准教授））

1. 専門分野

中央アジア地域研究、中央アジア近現代史

2. 経歴

1991 年 東京大学教養学部助手
1994 年 在ウズベキスタン共和国日本国大使館専門調査員
1996 年 国立民族学博物館地域研究企画交流センター助手
2002 年 同助教授
2006 年 京都大学地域研究統合情報センター助教授
2007 年 同准教授

3. 研究課題

- (1) 中央アジア地域研究希少資料のデジタル化と有効利用の諸方策
- (2) 帝政ロシアの構築した中央アジアに関する植民地的知の諸相
- (3) ロシア革命期・ソ連期中央アジアの政治と社会
- (4) 現代中央アジア（特にウズベキスタン）のナショナリズム

4. 主要業績

- ・ 2012 『朝倉世界地理講座 大地と人間の物語 5 中央アジア』朝倉書店（北川誠一・相馬秀廣と共編）。
- ・ 2011 『『フジュム』への視線：1920年代ソ連中央アジアにおける女性解放運動と現代』小長谷有紀ほか編『社会主義的近代化の経験：幸せの実現と疎外』明石書店、pp. 98-122。
- ・ 2005 「英雄の復活：現代ウズベキスタン・ナショナリズムのなかのティムール」酒井啓子ほか編『イスラーム地域の国家とナショナリズム』（イスラーム地域研究叢書 5）東京大学出版会、pp. 185-212。
- ・ 2005 『中央ユーラシアを知る事典』平凡社（小松久男ほかと共編）。
- ・ 2002 「ウズベキスタン：民族と国家の現在・過去・未来」松原正毅編『地鳴りする世界：9.11事件をどうとらえるか』恒星出版、pp. 97-141。

村上 勇介（むらかみ ゆうすけ（准教授））

1. 専門分野

ラテンアメリカ地域研究、政治学

2. 経歴

1991 年 在ペルー日本国大使館専門調査員
1995 年 国立民族学博物館地域研究企画交流センター助手
2002 年 同助教授
2006 年 京都大学地域研究統合情報センター助教授
2007 年 同准教授

3. 研究課題

- (1) ラテンアメリカ政治研究
- (2) 政治体制比較研究
- (3) ラテンアメリカの国際関係

4. 主要業績

- 2012 *Perú en la era del Chino: la política no institucionalizada y el pueblo en busca de un Salvador*, 2ª. edición (Ideología y política 27), Lima: Instituto de Estudios Peruanos y Center for Integrated Area Studies. [フジモリ時代のペルー：制度化しない政治、救世主を求める人々]
- 2004 『フジモリ時代のペルー：救世主を求める人々、制度化しない政治』平凡社。
- 2004 *Sueños distintos en un mismo lecho: una historia de desencuentros en las relaciones Perú-Japón durante la década de Fujimori*, Ideología y política 20, Instituto de Estudios Peruanos y The Japan Center for Area Studies. [同床異夢のペルー・日本関係：フジモリ期におけるすれ違いの軌跡]
- 2000 *La democracia según C y D: un estudio de la conciencia y el comportamiento político de los sectores populares de Lima*, Urbanización, migraciones y cambios en la sociedad peruana 15, Lima: Instituto de Estudios Peruanos y The Japan Center for Area Studies. [下層の人々が語る民主主義：リマ貧困層の政治意識と行動に関する一考察]
- 1999 *El espejo del otro: el Japón ante la crisis de los rehenes en el Perú*, Ideología y política 12, Lima: Instituto de Estudios Peruanos y The Japan Center for Area Studies. [他者の鏡：在ペルー日本国大使公邸占拠事件と日本]

中山大將（なかやま たいしょう（助教））

1. 専門分野
北東アジア地域研究、サハリン樺太史、農業社会史、移民史
2. 経歴
2010 年 京都大学大学院文学研究科 GCOE 研究員
2012 年 日本学術振興会特別研究員 PD（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター所属）
2015 年 京都大学地域研究統合情報センター助教
3. 研究課題
(1) サハリン島における移民社会の形成解体過程の研究
(2) 近現代東アジア境界地域における移民社会の形成解体過程の比較史研究
(3) 地域情報学の成果を活かした新しい歴史研究手法の模索
4. 主要業績
• 2015 “Japanese Society on Karafuto,” in ed. Svetlana Paichadze, Philip A. Seaton, *Voices from the Shifting Russo-Japanese Border: Karafuto / Sakhalin*, Oxon: Routledge, pp.19-41.
• 2015 「サハリン韓人の下からの共生の模索：樺太・サハリン・韓国を生きた樺太移住韓人第二世代を中心に」『境界研究』第 5 号、pp.1-27。
• 2015 『京都大学アジア研究教育ユニット報告書 7 2014 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ報告論文集』京都大学アジア研究教育ユニット（福谷彬、巫観と編著）。
• 2014 『亜寒帯植民地樺太の移民社会形成：周縁的ナショナル・アイデンティティと植民地イデオロギー』京都大学学術出版会。
• 2013 「サハリン残留日本人：樺太・サハリンからみる東アジアの国民帝国と国民国家そして家族」蘭信三編著『帝

国以後の人の移動：ポストコロニアルとグローバルイズムの交錯点』勉誠出版、pp.733-781。

○情報資源研究部門

貴志俊彦（きし としひこ（教授））

1. 専門分野
東アジア地域史
2. 経歴
1993 年 島根県立国際短期大学専任講師
2000 年 島根県立大学総合政策学部（専任講師→助教授→教授）
2007 年 神奈川大学経営学部教授
2010 年 京都大学地域研究統合情報センター教授
3. 研究課題
(1) 東アジア通信・メディア史研究
(2) 東アジア・東南アジアにおける太平洋戦争と戦後の記憶と記録に関する研究
(3) 近現代東アジア文化交流史研究
4. 主要業績
• 2013 『東アジア流行歌アワー：越境する音 交錯する音楽人』（岩波現代全書 15）岩波書店。
• 2012 『二〇世紀満洲歴史事典』吉川弘文館（松重充浩ほかと編著）。
• 2011 『アジアの自画像と他者：地域社会と「外国人」問題』京都大学学術出版会（編著）。
• 2010 『満洲国のビジュアル・メディア：ポスター・絵はがき・切手』吉川弘文館。
• 2009 『模索する近代日中関係：対話と競存の時代』東京大学出版会（谷垣真理子ほかと編著）。

西芳実（にし よしみ（准教授））

1. 専門分野
インドネシア地域研究／アチェ近現代史
2. 経歴
2006 年 東京大学大学院総合文化研究科特任助手
2007 年 東京大学大学院総合文化研究科助教
2010 年 立教大学 AIIC 助教
2011 年 京都大学地域研究統合情報センター准教授
3. 研究課題
(1) 多言語・多宗教地域の紛争・災害対応過程
(2) 社会秩序の再編過程における外来者の役割
(3) 国際協力事業分野における地域研究の知見の活用
4. 主要業績
• 2014 『災害復興で内戦を乗り越える：2004 年スマトラ島沖地震・津波とアチェ紛争』（叢書 災害対応の地域研究 2）京都大学学術出版会。
• 2013 『信仰と共生：バリ島爆発テロ事件以降のインドネシアの自画像』『地域研究』13 巻 2 号、pp. 176-200。
• 2012 「災害・紛争と地域研究：スマトラ沖地震・津波にお

ける現場で伝わる知』『地域研究』12 巻 2 号、pp. 181-197。

- ・ 2011 “Among Bangsa, Keturunan, and Daerah: Peace-Building and Group Identity in the law on Governing Aceh, 2006,” Hiroyuki Yamamoto, et al., eds., *Bangsa and Umma: Development of People-Grouping Concepts in Islamized Southeast Asia* (Kyoto University Press), pp. 166-182.
- ・ 2010 「インドネシアのアチェ紛争とディアスポラ」 首藤もと子編『東南・南アジアのディアスポラ』（叢書グローバル・ディアスポラ 2）明石書店、pp. 67-86。

山 本 博 之（やまもと ひろゆき（准教授））

1. 専門分野

マレーシア地域研究／現代史

2. 経歴

1998 年 マレーシア・サバ大学講師
2001 年 東京大学大学院総合文化研究科助手
2003 年 在メダン総領事館委嘱調査員
2004 年 国立民族学博物館地域研究企画交流センター助教授
2006 年 京都大学地域研究統合情報センター助教授
2007 年 同准教授

3. 研究課題

- (1) イスラム教圏東南アジアにおける民族と混血概念
- (2) 災害対応と情報
- (3) 地域研究の方法論
- (4) 劇映画に見られる集会的記憶の形成・再編

4. 主要業績

- ・ 2014 『復興の文化空間学：ビッグデータと人道支援の時代』（叢書 災害対応の地域研究 1）京都大学学術出版会。
- ・ 2011 *Film in Contemporary Southeast Asia: Cultural Interpretation and Social Intervention* (Routledge) (Coeditor: David Lim).
- ・ 2011 *Bangsa and Umma: Development of People-Grouping Concepts in Islamized Southeast Asia* (Kyoto University Press) (Coeditor: Anthony Milner, et al.).
- ・ 2010 「人道支援活動とコミュニティの形成」 林勲男編著『自然災害と復興支援』明石書店、pp. 361-382。
- ・ 2006 『脱植民地化とナショナリズム：英領北ボルネオにおける民族形成』東京大学出版会。

谷 川 竜 一（たにがわ りゅういち（助教））

1. 専門分野

アジア近現代都市・地域空間論、建築史・都市史

2. 経歴

2004 年 東京大学生産技術研究所技術職員
2009 年 東京大学生産技術研究所助教
2012 年 京都大学地域研究統合情報センター助教（2015 年 9 月退職）

3. 研究課題

- (1) アジア近現代都市・建築に関する情報プラットフォームの

構築

- (2) 建造物を通した日本・アジア近現代関係史の解明
- (3) 記憶の収蔵庫としてのミュージアム建設やポピュラーカルチャーによるまちづくりの手法分析

4. 主要業績

- ・ 2014 『マンガミュージアムへ行こう』（岩波ジュニア新書）、岩波書店（伊藤遊・村田麻里子・山中千恵と共著）。
- ・ 2011 「東アジア近現代の都市と建築：建築・都市に織り込まれた帝国・国・社会」 和田春樹ほか編『岩波講座 東アジア近現代通史 別巻 アジア研究の来歴と展望』岩波書店、pp. 177-202。
- ・ 2011 “Colonial Structures Veiled in Publicity: Lighthouses, Bridges, and Dams Built by the Japanese Empire in Colonial Korea,” *Our Living Heritage: Industrial Buildings and Sites of Asia* (mAAN 8th International Conference, Seoul, August 25-27, 2011), pp. 77-87.
- ・ 2010 「京都国際マンガミュージアムにおける来館者調査：ポピュラー文化ミュージアムに関する基礎研究」『京都精華大学紀要』37 号、pp. 77-92（村田麻里子らと共著）。
- ・ 2008 「一九三九年、烏口の記憶：京城高等工業学校建築科のある同窓生たちの生涯」『Mobile Society Review』（NTT ドコモ／モバイル社会研究所）14 号、pp. 30-41。

○地域情報学（高次情報処理）研究部門

林 行 夫（はやし ゆきお（教授））

1. 専門分野

東南アジア仏教徒社会の地域研究、文化人類学

2. 経歴

1988 年 国立民族学博物館研究部助手
1993 年 京都大学東南アジア研究センター（現東南アジア研究所）助教授
1996 年 京都大学大学院人間・環境学研究科併任助教授
1998 年 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科併任助教授
2001 年 京都大学博士（人間・環境学）
2002 年 京都大学東南アジア研究所教授
2002 年 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科併任教授
2006 年 京都大学地域研究統合情報センター教授

3. 研究課題

- (1) 大陸部東南アジア仏教徒社会の動態をめぐる地域間比較研究
- (2) 宗教活動と生活空間の編制に関する歴史・地域情報学的研究
- (3) 文化表象の地域人類学的研究

4. 主要業績

- ・ 2011 『静と動の仏教：新アジア仏教史 4（スリランカ・東南アジア）』佼成出版社（奈良康明ほか監修、編集協力／共著）。
- ・ 2009 『＜境域＞の実践宗教：大陸部東南アジア地域と宗教

のトポロジー』京都大学学術出版会（編著）。

- ・ 2003 *Practical Buddhism among the Thai-Lao: Religion in the Making of Region* (Kyoto/ Melbourne: Kyoto University Press & Trans Pacific Press).
- ・ 2002 *Inter-Ethnic Relations in the Making of Mainland Southeast Asia and Southwestern China* (Bangkok: Amarin Printing and Publishing) (Coeditor: Aroonrut Wichiankeeo).
- ・ 2000 『ラオ人社会の宗教と文化変容：東北タイの地域・宗教社会誌』京都大学学術出版会。

原 正 一 郎（はら しょういちろう（教授））

1. 専門分野 情報学

2. 経歴

- 1989 年 学術情報センター助手
- 1991 年 国文学研究資料館助教授
- 2006 年 京都大学地域研究統合情報センター教授

3. 研究課題

- (1) 地域情報学（Area Informatics）の創出
- (2) Humanities GIS に関する研究
- (3) デジタルアーカイブに関する研究
- (4) 画像処理、古文書文字認識に関する研究
- (5) 医療情報学（地域看護における情報処理）に関する研究

3. 主要業績

- ・ 2012 「歴史 GIS の地平：景観・環境・地域構造の復原に向けて」HGIS 研究協議会編（川口洋（代表）・石崎研二・後藤真・関野樹・原正一郎）、勉誠出版、288p.
- ・ 2010 “Area informatics: Concept and status,” *Culture and Computing* (Springer Lecture Note in Computer Science 6259), Springer, pp. 214-288 (Coauthor: Toru Ishida).
- ・ 2009 「地域研究のための資源共有化システムとメタデータに関する研究」『東南アジア研究』46 巻 4 号、pp. 608-645。
- ・ 2003 「健診情報のための電子的交換規約」『情報知識学会誌』12 巻 4 号、pp. 32-52（杉森裕樹ほかと共著）。
- ・ 2002 「国文学支援のための SGML/ XML データシステム」『情報知識学会誌』11 巻 4 号、pp. 17-35（安永尚志と共著）。

柳 澤 雅 之（やなぎさわ まさゆき（准教授））

1. 専門分野

農業生態学、ベトナム地域研究

2. 経歴

- 1999 年 京都大学東南アジア研究センター（現東南アジア研究所）助手
- 2006 年 同助教授
- 2006 年 京都大学地域研究統合情報センター助教授
- 2007 年 同准教授

3. 研究課題

- (1) ベトナム紅河デルタ村落研究
- (2) 東南アジアの土地利用変化に関する研究

4. 主要業績

- ・ 2014 「土地とその改変」落合雪野・白川千尋編『ものとしの植物誌 東南アジア大陸部から』臨川書店、pp.56-70。
- ・ 2014 「ベトナムと中国の国境域」落合雪野編『国境と少数民族』めこん、pp.105-133。
- ・ 2012 「自然科学分野の地域研究：地域情報の限定性を克服するために」『地域研究』12 巻 2 号、pp. 116-130。
- ・ 2009 「東南アジア生態史」東南アジア学会監・東南アジア史学会 40 周年記念事業委員会編集『東南アジア史研究の展開』山川出版社、pp. 156-171。
- ・ 2006 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・東南アジア研究所編『京大式フィールドワーク入門』NTT 出版。

亀 田 堯 宙（かめだ あきひろ（助教））

1. 専門分野 情報学

2. 経歴

- 2013 年 情報・システム研究機構特任研究員
- 2014 年 京都大学地域研究統合情報センター助教

3. 研究課題

- (1) 学術資料、論文からの情報抽出とその構造化
- (2) 研究におけるデータベースの利活用支援

4. 主要業績

- ・ 2015 「外の知識から見た『トルキスタン集成』」帯谷知可編『書誌情報データベースの地域情報学的新展開を探る』(CIAS Discussion Paper Series No.51) CIAS、pp.22-29。
- ・ 2015 「カラムデータベースにおける理解支援」坪井祐司・山本博之編著『『カラム』の時代VI 近代マレー・ムスリムの日常生活 2』(CIAS Discussion Paper Series No.53) CIAS、pp.10-13。
- ・ 2013 “Extraction of Semantic Relationships from Academic Papers using Syntactic Patterns,” The Fifth International Conference on Information, Process, and Knowledge Management (coauthors: Kiyoko Uchiyama, Hideaki Takeda, Akiko Aizawa).
- ・ 2013 “Integrate Japanese Red List into LOD of Species,” PNC Annual Conference and Joint Meetings 2013 (coauthors: Fumihiro Kato, Utsugi Jinbo, Ikki Ohmukai, Hideaki Takeda).

○特任教員／研究員（特別教育研究・一般）

柴 山 守（しばやま まもる（教授））

1. 専門分野

地域情報学、人文情報学

2. 経歴

- 1982 年 京都大学東南アジア研究センター助手
- 1988 年 大阪国際大学経営情報学部助教授
- 1993 年 同教授
- 1996 年 大阪市立大学学術情報総合センター教授
- 2003 年 大阪市立大学大学院創造都市研究科教授
- 2003 年 京都大学東南アジア研究センター教授
- 2004 年 京都大学東南アジア研究所教授
- 2012 年 京都大学地域研究統合情報センター特任教授／研究員

3. 研究課題

- (1) 地域情報学の創出と Humanities GIS に関する研究
- (2) 東南アジア上座仏教徒社会における寺院マッピングと僧侶の移動遍歴
- (3) 大陸部東南アジアの東西回廊とアジア文明に関する情報学的研究
- (4) ハノイ都市形成過程に関する情報学的研究

4. 主要業績

- ・2015 “Medieval East-West Cultural Corridor in Mainland Southeast Asia,” *Advancing Southeast Asian Archaeology* 2013, SEAMEO SPAFA Regional Center for Archaeology and Fine Arts, pp.423-461.
- ・2012 『地域情報マッピングからみる東南アジア：陸域・海域アジアを越えて地域全体像を解明する研究モデル』勉誠出版。
- ・2010 「時空間概念に基づく地域・歴史事象の写像と知識獲得：地域情報学の視点から見る歴史知識学」『人工知能学会誌』25 巻 1 号、pp. 42-49。
- ・2009 『地域研究のための GIS』古今書院（水島司と共編著）。
- ・1990 *The Computer Concordance to the Law of the Three Seals* (Tahiland: Amarin Publications) (Coauthors: Yoneo Ishii, Aroonrut Wichenkeo).

学出版会（深見奈緒子、内山雄太と編著、村松伸監修）（近刊）。

- ・2014 『居住環境類型からメガシティのグローバルな連環と動態を捉える』総合地球環境学研究所・メガ都市プロジェクト（深見奈緒子、内山雄太と編著）。
- ・2013 「近代仏教建築の形成とアジア／亜細亜の形成・離散その 1：コロンボ（スリランカ）の近代仏教建築」『平成 25 年度日本建築学会大会学術講演梗概集（都市計画）』、pp.433-434。
- ・2012 “Dynamisms in the Hub City of Colombo and the Urban Networks around the Bay of Bengal from the Viewpoint of Daily Activities: The Locations of Religious Architecture from the 17th Century,” Naoko Fukami ed., *Islam and Multiculturalism: Between Norms and Forms* (Organization for Islamic Area Studies, Waseda University), pp.79-101.
- ・2005 「第 IV 章 3 オランダ植民都市の転成 3-3 コーチン」布野修司編著『近代世界システムと植民都市』京都大学学術出版会、pp.464-482。

○白眉プロジェクト

王 柳 蘭（おう りゅうらん（准教授））

1. 専門分野

文化人類学、東アジア・東南アジア地域研究

2. 経歴

- 2003 年 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科助手
- 2007 年 同助教（～2009 年）
- 2009 年 日本学術振興会特別研究員 RPD
- 2013 年 白眉センター特定准教授

3. 研究課題

移民と宗教、医食文化、華人（中国、タイ、台湾、日本）

4. 主要業績

- ・2014 『下からの共生を問う：複相化する地域への視座』（CIAS Discussion Paper, No. 39）（編著）。
- ・2011 『越境を生きる雲南系ムスリム：北タイにおける共生とネットワーク』昭和堂。
- ・2011 「民族関係から『華』を考える：北タイ国境における雲南系回民を事例に」『中国研究月報』65 巻 2 号、pp. 42-54。
- ・2010 [特集企画代表] 「越境と地域空間：ミクロ・リージョンをとらえる」『地域研究』10 巻 1 号。
- ・2009 「北タイにおけるイスラーム環境の形成過程：中国雲南系ムスリム移民の事例から」林行夫編『〈境域〉の実践宗教：大陸部東南アジア地域と宗教のトポロジー』京都大学学術出版会、pp. 729-781。

○研究員（科学研究）

Andrea Yuri Flores Urushima

（アンドレア・ユリ・フロレス・ウルシマ（研究員））

1. 専門分野

山 田 協 太（やまだ きょうた（助教））

1. 専門分野

南アジアの地域居住環境形成史、地域居住環境デザイン

2. 経歴

- 2005 年 鳥取環境大学環境情報学部環境デザイン学科（助手→助教→講師）
- 2009 年 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科助教
- 2015 年 京都大学地域研究統合情報センター特任助教／研究員

3. 研究課題

- (1) コロンボ（スリランカ）の下町における地域居住環境デザイン
- (2) 近代仏教建築の成立とアジアの都市景観／環ベンガル湾の人の移動と居住環境形成
- (3) 居住環境形成の地球史

4. 主要業績

- ・2015 『シリーズ メガシティとサステイナビリティ 第 2 巻 メガシティと都市地域生態圏：複数経路の進化』東京大

2. 経歴

- 2000 年 Laboratory of Metropolitan Urbanism FAUUSP [サンパウロ大学大都市計画研究所研究者]
- 2001 年 Architecture and Urbanism Office—ARBRE [建築と都市計画事務所建築家]
- 2009 年 京都大学地域研究統合情報センター研究員

3. 研究課題

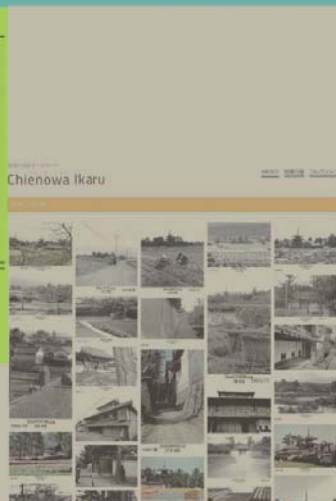
- (1) 日本の近現代都市計画史
- (2) 都市化に通じて人間環境空間の変化
- (3) 空間モデルの世界各地域への伝播

4. 主要業績

- 2015 *Modernização urbana e cultura contemporânea: diálogo Brasil-Japão*, São Paulo: Terracota, edited in collaboration with Raquel Abi-Samara and Murilo J. da Costa.
- 2015 "Territorial prospective visions for Japan's high growth: the role of local urban development," *Nature and Culture* 1:1, pp.12-35.
- 2014 "Unavoidable modernization and the image of hell: visual planning in mid-twentieth century in Japan," in *Alternative visions of postwar reconstruction: creating the modern townscape*, ed. John Pendlebury, Erdem Erten, Peter Larkham, London: Routledge, pp. 90-107.
- 2012 "Réévaluation des modes de vie rural et citadin face à la dégradation de l'environnement: un débat national au Japon, 1967-1972," *Revue des Sciences Sociales* 47, pp.130-138.
- 2011 "A arquitetura moderna latino-americana pelo olhar Japonês," *Desígnio - Revista de História da Arquitetura e do Urbanismo* 11:12, pp.89-96.



Center for Integrated Area Studies, Kyoto University



2015

The Committee, appointed to Examine, and State to the House, the Matter of Fact contained in the Petition of several Merchants of the City of London, referred to them by Order of the House, have, in Pursuance of the said Order, inquired into the late Discoveries towards Finding a North-West Passage, made by the Ships called the Furnace, and the Pink, sent on that Service at the Expence of the Public

お問い合わせ先
〒606-8501
京都市左京区吉田下阿達町46
京都大学地域研究統合情報センター
Email : ciasjimu@cias.kyoto-u.ac.jp
Tel : 075-753-7302
Fax : 075-753-9602